



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月28日

上場会社名 株式会社メディカルー光  
コード番号 3353

上場取引所 大

URL <http://www.m-ikkou.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 南野 利久

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 西井 文平

(TEL) 059-226-1193

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	14,513	8.4	880	18.9	832	19.4	519	32.9
23年2月期第3四半期	13,388	4.2	740	2.9	696	9.4	390	23.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	27,156 52	—
23年2月期第3四半期	20,396 79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	15,242	4,151	27.2	216,658 86
23年2月期	12,624	3,709	29.4	194,121 44

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 4,151百万円 23年2月期 3,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0 00	—	4,000 00	4,000 00
24年2月期	—	0 00	—		
24年2月期(予想)				4,000 00	4,000 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,350	7.7	1,105	11.7	1,040	11.7	625	21.9	32,657 81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	20,350株	23年2月期	20,350株
24年2月期3Q	1,189株	23年2月期	1,243株
24年2月期3Q	19,130株	23年2月期3Q	19,165株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第2四半期連結累計期間】	6
【第2四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興に伴い、緩やかに持ち直しの動きが見られる中、雇用情勢や所得環境は厳しい状況が続きました。また、欧米を中心とした世界経済の減速や円高に伴う輸出環境の悪化などの影響もあり、景気は不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社の主力とする調剤薬局事業におきましては、安全性を最優先し患者様に選ばれる店舗運営を推進するとともに事業規模の拡大に向け取り組んでまいりました。ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホームを今後の成長エンジンと位置づけ、3年間で10施設の開設を目標として、安定的な成長に向けて取り組んでまいりました。また、医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品の使用促進が進められている状況下、積極的な営業活動を推進してまいりました。

以上の結果、売上高は14,513百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益は880百万円(同18.9%増)、経常利益は832百万円(同19.4%増)、四半期純利益は519百万円(同32.9%増)となり、増収増益を確保いたしました。

セグメント別の業況は次のとおりです。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、9月に子会社化した有限会社クローバーの店舗取得により、埼玉県へ進出いたしました。子会社化による取得2店舗、新規出店1店舗の計3店舗を当四半期中に出店し、当社グループの調剤薬局は78店舗となりました。また、既存店舗においても処方箋単価が前年を上回り、売上高は13,298百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益1,101百万円(前年同期比17.1%増)と増収増益を確保いたしました。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、売上高が計画通り増加を続けております。6月に開業した介護付有料老人ホーム「ハーモニーハウス伊賀大山田」の売り上げも堅調に推移しており、売上高は650百万円(前年同期比47.0%増)、営業利益45百万円(前年同期比1百万円減)となりました。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品の使用促進のもと、積極的な営業活動を推進したことにより、売上高507百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益29百万円(前年同期比3百万円減)となりました。(内部売上高を含む売上高は727百万円となり前年同期比9.5%増。)

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高56百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益28百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

なお、セグメント間の内部売上高として222百万円を消去するとともに、全社における共通経費として324百万円を計上しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,242百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,617百万円増加いたしました。

流動資産の合計は5,966百万円となり、前連結会計年度末と比較して776百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加350百万円、売掛金の増加251百万円によるものです。

固定資産の合計は9,275百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,841百万円増加いたしました。これは主に、関係会社株式の増加2,002百万円によるものです。

負債合計は11,090百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,175百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加396百万円、短期借入金の増加600百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加961百万円によるものです。

純資産合計は4,151百万円となり、前連結会計年度末と比較して442百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益519百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は2,684百万円となり、前連結会計年度末と比較して357百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、829百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益958百万円、仕入債務340百万円の増加があったものの、売上債権の増加199百万円、法人税等の支払495百万円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,923百万円となりました。これは、主に有形固定資産の売却による収入238百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出280百万円、関係会社株式の取得による支出1,900百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,451百万円となりました。これは、主に短期借入金の純増加559百万円、長期借入金の純増加961百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、平成23年9月21日公表の数値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、原則的な方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に大幅な経営環境の変化がないこと、また、一時差異等の発生状況に著しい変化がないことが認められるので、前連結会計年度末に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ2,006千円減少し、税金等調整前四半期純利益は15,307千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は42,213千円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,684,204	2,333,806
売掛金	2,185,865	1,934,136
商品	859,586	767,827
その他	238,163	155,935
貸倒引当金	△1,100	△1,100
流動資産合計	5,966,719	5,190,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,972,524	2,710,223
土地	1,716,896	1,883,856
その他（純額）	200,031	369,108
有形固定資産合計	4,889,452	4,963,188
無形固定資産		
のれん	975,409	912,302
その他	157,265	113,355
無形固定資産合計	1,132,674	1,025,658
投資その他の資産		
投資有価証券	152,350	314,325
関係会社株式	2,002,530	—
敷金及び保証金	443,646	495,576
その他	654,734	634,945
投資その他の資産合計	3,253,261	1,444,847
固定資産合計	9,275,389	7,433,694
資産合計	15,242,109	12,624,299
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	6,514	6,727
買掛金	2,785,149	2,388,825
短期借入金	600,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,453,887	1,293,389
未払法人税等	278,281	256,576
賞与引当金	2,006	100,615
その他	598,230	375,943
流動負債合計	5,724,070	4,422,078
固定負債		
長期借入金	4,871,443	4,070,523
退職給付引当金	294,607	270,512
その他	200,588	152,106
固定負債合計	5,366,638	4,493,142
負債合計	11,090,708	8,915,221

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	2,601,793	2,158,712
自己株式	△199,265	△209,633
株主資本合計	4,156,578	3,703,129
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,177	5,949
評価・換算差額等合計	△5,177	5,949
純資産合計	4,151,400	3,709,078
負債純資産合計	15,242,109	12,624,299

(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	13,388,103	14,513,048
売上原価	11,943,707	12,848,900
売上総利益	1,444,395	1,664,148
販売費及び一般管理費	704,247	783,784
営業利益	740,147	880,363
営業外収益		
受取利息	1,238	633
受取配当金	972	7,149
受取保証料	1,377	1,160
助成金収入	7,231	11,763
その他	6,017	6,598
営業外収益合計	16,836	27,304
営業外費用		
支払利息	52,769	58,483
その他	7,268	16,931
営業外費用合計	60,037	75,414
経常利益	696,946	832,253
特別利益		
固定資産売却益	—	23,436
投資有価証券売却益	31,732	120,112
貸倒引当金戻入額	—	100
受取補償金	5,238	—
特別利益合計	36,970	143,649
特別損失		
固定資産除却損	1,971	2,574
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,301
保険解約損	—	1,815
その他	—	20
特別損失合計	1,971	17,711
税金等調整前四半期純利益	731,945	958,191
法人税、住民税及び事業税	403,856	509,806
法人税等調整額	△62,816	△71,124
法人税等合計	341,039	438,682
少数株主損益調整前四半期純利益	—	519,508
少数株主利益	—	—
四半期純利益	390,905	519,508

【第3四半期連結会計期間】

（単位：千円）

	前第3四半期連結会計期間 （自平成22年9月1日 至平成22年11月30日）	当第3四半期連結会計期間 （自平成23年9月1日 至平成23年11月30日）
売上高	4,467,959	4,891,918
売上原価	3,947,026	4,338,897
売上総利益	520,932	553,020
販売費及び一般管理費	238,211	270,514
営業利益	282,721	282,505
営業外収益		
受取利息	300	100
受取配当金	123	199
受取保証料	441	368
助成金収入	1,934	5,627
その他	3,198	3,946
営業外収益合計	5,998	10,240
営業外費用		
支払利息	17,243	19,903
その他	3,916	11,440
営業外費用合計	21,159	31,343
経常利益	267,561	261,403
特別利益		
固定資産売却益	—	2,084
特別利益合計	—	2,084
特別損失		
固定資産除却損	64	1,819
その他	—	20
特別損失合計	64	1,840
税金等調整前四半期純利益	267,496	261,646
法人税、住民税及び事業税	172,954	173,423
法人税等調整額	△50,674	△49,425
法人税等合計	122,279	123,998
少数株主損益調整前四半期純利益	—	137,648
少数株主利益	—	—
四半期純利益	145,217	137,648

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	731,945	958,191
減価償却費	173,322	219,376
のれん償却額	59,724	64,373
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	100	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△94,810	△101,442
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	35,727	24,094
受取利息及び受取配当金	△2,211	△7,782
支払利息	52,769	58,483
投資有価証券売却損益 (△は益)	△31,732	△120,112
固定資産売却損益 (△は益)	—	△23,436
固定資産除却損	1,971	2,574
売上債権の増減額 (△は増加)	△149,609	△199,862
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△48,711	△75,391
仕入債務の増減額 (△は減少)	245,987	340,574
その他	186,068	237,257
小計	1,160,542	1,376,897
利息及び配当金の受取額	1,233	7,212
利息の支払額	△53,027	△59,276
法人税等の支払額	△468,827	△495,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	639,920	829,514
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△437,360	△280,404
有形固定資産の売却による収入	—	238,070
無形固定資産の取得による支出	△21,458	△84,228
投資有価証券の取得による支出	△35,908	△5,043
投資有価証券の売却による収入	94,596	161,007
関係会社株式の取得による支出	—	△1,900,827
長期前払費用の取得による支出	△20,087	△3,256
差入保証金の差入による支出	△47,243	△3,807
差入保証金の回収による収入	8,118	57,510
長期未収入金の増加による支出	△358,327	△358
長期未収入金の回収による収入	—	10,000
預り金の増減額 (△は減少)	131,569	△6,363
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△89,698
その他	△7,535	△16,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△693,636	△1,923,432

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成22年3月1日 至平成22年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成23年3月1日 至平成23年11月30日）
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	600,000
短期借入金の返済による支出	△30,000	△40,380
長期借入れによる収入	1,900,000	2,050,000
長期借入金の返済による支出	△1,215,599	△1,088,582
リース債務の返済による支出	△1,932	△3,599
自己株式の取得による支出	△30,498	—
自己株式の処分による収入	—	10,368
配当金の支払額	△67,368	△76,428
財務活動によるキャッシュ・フロー	554,601	1,451,378
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	500,885	357,460
現金及び現金同等物の期首残高	1,891,018	2,326,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,391,904	2,684,204

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)

	調剤薬局 事業 (千円)	医薬品卸 事業 (千円)	ヘルスケア 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,400,589	488,904	442,396	56,213	13,388,103	—	13,388,103
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,224	174,884	274	—	178,383	(178,383)	—
計	12,403,813	663,789	442,670	56,213	13,566,487	(178,383)	13,388,103
営業利益	941,006	32,562	46,700	29,133	1,049,402	(309,255)	740,147

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の事業の内容

- (1) 調剤薬局事業・・・・・・処方箋受付専門の医薬品の販売を行っております。
- (2) 医薬品卸事業・・・・・・医療機関等へ医薬品の販売を行っております。
- (3) ヘルスケア事業・・・・・・介護施設の運営、医療施設等の賃貸業務、及び医療・介護に付随する業務を行っております。
- (4) 不動産事業・・・・・・一般不動産を所有し賃貸業務を行っております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品の内容と事業の形態及びサービスの性質を考慮して事業部及び子会社を置き、事業部及び子会社は、推進する事業について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業及びサービスを基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

「調剤薬局事業」は調剤薬局の経営を、「ヘルスケア事業」は介護施設の運営、医療施設等の賃貸業務、及び医療・介護に付随する業務を、「医薬品卸事業」は医療機関等への医薬品の販売を、「不動産事業」は一般不動産の賃貸業務を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,298,490	650,534	507,147	56,876	14,513,048	—	14,513,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,643	274	219,923	—	222,841	△222,841	—
計	13,301,133	650,809	727,070	56,876	14,735,889	△222,841	14,513,048
セグメント利益	1,101,678	45,449	29,386	28,639	1,205,153	△324,789	880,363

(注) 1 セグメント利益の調整額△324,789千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用329,372千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。